

ワーキングテーマ① 浸水想定区域内の庁舎建設について

**候補地について**

**災害対策だけを敷地選定の条件とすべきではない**

- 50~100年に一度の対策をどこまでやるべきか。
- 水害だけを考慮して立地選定すべきではない。まちの活性化との連携が重要。
- 過去に水が国道を越えたことはない。

**災害対策拠点としてのアクセシビリティ**

- 災害時に職員がアクセスしやすい立地（災害は何時起きるか分からない）。
- 無駄な労力をせずに済む立地が良い（総合体育館に本部を作るなどの手間は省くべき）。

**街なかへの立地**

- 水害対策を視野に入れた市立病院という前例の信頼度を評価するべき。
- 街の活性化と安全性が同時に達成できることが重要。
- 水害時の安全性、早期回復は建物のハード面の整備により対応は可能。

**敷地候補絞り込みの視点①**

**街なかへの立地が望ましい**

◎JR 社宅跡地は外す

※街の活性化にリンクできない（既往計画と合致しない）

**市庁舎の建て方について**

**災害を見据えた施設の方向性**

- 市立病院の前例を踏まえ、過度な投資は必要ないように感じる。
- 万が一に備えた配置を考えるべきではないか。
- 市民に安心感を与える施設になる建て方を考えるべき。

**高層化は望ましくない**

- 高層化に伴う管理コストの増大は無視できない。
- 現庁舎敷地への整備は、仮庁舎も必要となり、さらなるコスト増につながる。

**敷地候補絞り込みの視点②**

**高層化せずに立地できる敷地が望ましい**

①現庁舎敷地は外す

※高層化しなければならない  
※仮庁舎が必要になる

**【ワーキングの成果】**

**市庁舎建設に掛かる敷地候補案**

**②公民館駐車場**

- 南側に敷地延長すれば、前庭や図書館への日影の影響が少ないのでは？
- ←河川敷地に喰い込むこと、高低差の解消等の別な課題は解決する必要がある

**⑧市役所周辺**

- ←当該敷地内にある既存道路の廃道等の手続きは必要になる

ワーキングテーマ② まちづくりからの庁舎建設

**中心市街地の活性化と市庁舎の関わり**

**まちなかのポテンシャル**

**コンパクトな街**

- 医療・福祉施設の集積。
- 街なかの住宅は空室率が低く、新陳代謝が起きている。

**まちの多目的性の発揮**

**回遊性の向上**

- まちを訪れる多目的性を支えるコンパクトな機能集積・相乗効果
- 『ついで』をどう生み出すか。
- 市役所と商店街の回遊（「ついで」の誘発）

**経済効果の発揮**

**経済圏**

- 砂川+上砂川+奈井江の経済圏を視野に入れるべき

**中心市街地の活性化**

- 中心市街地活性化の実現が重要
- 若者が関わりたい、働きたい（起業できる）と思えるまちなかであることが重要。

**市庁舎整備のインパクト**

- 市立病院の立地による地価上昇の実績（その後の下落もそれほど顕著ではない）
- 病院周辺への関係施設の立地促進（コンパクトな病院城下町が形成）
- 波及効果の定量的な分析の必要性

**商店街の活性化**

**現状の課題**

- 商店経営者の高齢化。
- 市庁舎の街なかへの立地による再活性化への期待。（パーラークランド跡地への誘導）

**民の戦略**

- 商店街活性化は行政の役割ではない。
- 活性化をけん引する商工会の戦略はあるか？

**連携可能性**

- 既存商業集積との連携可能な機能の誘導
- 市役所の一部機能移転（関係部局）の可能性

**複合庁舎の可能性**

**複合化の可能性**

- 複合される施設の機能、通常業務の円滑性に支障がでないか？

**市庁舎建設を契機にまちづくりを考える**

**市庁舎とまちづくりの連携**

- 市庁舎建設が活性化の引き金にならないか。
- 庁舎建替えと街なかが連携しないとついでにない。
- 街なかで立地することで周辺の複合化や建て替えが促進されるのではないか。
- まちづくりの攻めの一手を打つチャンス。

**敷地候補絞り込みの視点③**

**まちの活性化との連携・連動が重要**

**連携・連動する動きを考える**

**『連携プロジェクト』**

- 市役所整備は活性化の直接の引き金にはならない。
- 連動し得る動き、アクションを想定すべき。

**多世代を視野に入れる**

- 『文化』がこれからの活性化のキーワード
- 多世代（お年寄りから子育て層、若者）が集い、交流できることが重要

**例えば『図書館』**

- 図書館機能の街なかへの移転はあり得ないか？（図書館の移転により敷地を活用）
- 話題性のあるプロジェクトになる（ツタヤ書店のような街なかの時間消費の場づくり）

**民有地の取得による市庁舎整備の可能性**

**民有地活用**

- 中心市街地活性化のタネ地としての民地活用。
- 対象地の範囲を拡大して老朽化等への対応。

**スケジュール**

- 土地取得に掛かる権利者調整・協議による市庁舎整備のスケジュール遅延の可能性はある。

**市役所と連携する機能**

- 庁舎よりも違う公共施設の方がより活性化に繋がる。
- 違う活用を模索して、中心市街地の活性化を目指す利活用について提言する。

**敷地候補絞り込みの視点④**

**整備スケジュールの遅延を避ける**

⑥パーラークランド周辺  
⑦駅前地域は候補から外す

※土地取得協議・調整によるスケジュール遅延の可能性が高い  
※市役所と連携できる公共機能の誘導を模索し、活性化への効果を高める